

生徒の皆さんへ

新型コロナウイルス感染症が依然猛威をふるっています。3月から始まった臨時休業が解除されることなく、5月31日まで延長されることになりました。その中で生徒の皆さんはがまんを強いられる毎日を送っていることと思います。「自宅を出て学校へ行きたい」、「友達と顔を見ながら話したい」、「授業を受けたい」、「部活動をやりたい」…、通常であればあたり前にできることをがまんしなければなりません。私たち教員は生徒の皆さんを感染リスクから守るために、その気持ちに応えることができないのが本当に残念です。

臨時休業が長引くにつれ、不安を抱く皆さんも多いでしょう。特に3年生の皆さんは、高校卒業後の進路選択の準備を固める時期だけに、「今、何をしてよいかわからない」と毎日悶々と過ごしている人も多いのではないのでしょうか。

不安を抱いているのは皆さんだけではありません。瀬谷高校の教員も、皆さんに対して、「何をしなければならぬのか」、「何ができるだろうか」を、先行き不透明のなか真剣に考えています。皆さんに提示させてもらっている「学習課題」一つとっても、「何を教えるか」、「どのように取り組んでもらうか」、「どのように皆さんに届けるか」など、非常に制約が多い中で懸命に考え、できることを実行していますが、皆さん全員に対して十分な対応ができていないのが現実であり、大変申し訳なく思っています。

しかしながら、こんな状況だからこそ、「用意された課題をこなす」ことにプラスして「自主的に勉学に取り組む」ことを考え、実行してみませんか。教科内容の「要約」を自主的に行うこともその一つでしょう。（「要約」：教科書をしっかり読み、項目ごとに重要語句を拾い上げ、短い文でまとめること）。方法は人それぞれ違います。是非皆さん一人ひとりが自分自身にあった方法を考えて欲しいと思っています。考えるうえで必要であれば、学校に電話をかけ担任の先生等と相談してください。的確な答えを返すことはできなくても、一緒に考えることはできるでしょう。このことを考えることは、瀬谷高校がめざす「より高い目標に向かって積極的に行動する生徒の育成」につながります。この困難な状況を機会として捉え、皆さんが「高み」をめざすきっかけとなればすばらしいと願っています。

学校再開はいまだにハッキリしません。しかしながら、この状態もいつかは終わります。皆さんは、その日がやってきたら充実した学校生活を送れるよう、規則正しい毎日を過ごしてください。

令和2年5月6日

神奈川県立瀬谷高等学校

校長 久祢田 啓嗣